



高島第一中学校だより 5月号

“高島第一中学校学びのエリア”

(新河岸小学校・高島第一小学校・高島第一中学校)

令和8年5月25日

校長 武田 雅之

コミュニケーションの第一歩

新年度が始まり、早くも2ヶ月が過ぎようとしています。うららかな春の光から、初夏を思わせる力強い日差しへと季節が移り変わるのを感じる頃となりました。先日入学した7年生も学校生活に慣れ、学習や部活動などに励んでいます。

さて、今週末は運動会が開催されます。校庭や教室からは、毎日、実行委員や各クラスのリーダーを中心に練習をする元気な声や作戦を練る熱い話し合いの声が聞こえてきます。放課後や学級の時間を使って、リレーのバトンパスの練習に励む姿、大縄跳びや大百足でタイミングを合わせようと声を掛け合う姿を見ていると、学校全体が心地よい熱気に包まれているのを感じ、運動会当日の熱戦を想像して期待が膨らんできます。運動会という行事は、単に運動能力を競い合う場ではありません。一つの目標に向かってクラスや団が団結し、お互いを認め合い、支え合う「集団の力」を育む大切な機会です。そして、その団結力の根底にあるものこそが、「コミュニケーション」になります。中学校という多感な時期、生徒たちは様々な個性を持ち、時には意見がぶつかり合うこともあります。運動会の練習でも、「もっとこうしてほしい」「どうしてうまくいかないのだろう」と、壁にぶつかる場面が必ず出てきます。そんな時、自分の気持ちを言葉にして伝え、同時に仲間の声に耳を傾けるというコミュニケーションが不可欠になります。誰もが納得する答えを導き出すのは簡単なことではありませんが、その試行錯誤のプロセスこそが、生徒たちを大きく成長させてくれるのです。

では、良好なコミュニケーションを築くために、誰でもできる第一歩とは何でしょうか。それは、「あいさつ」であると考えています。「おはようございます」「こんにちは」「ありがとう」。これらの短い言葉には、相手の存在を認め、「あなたを大切に思っています」「今日もよろしく」というメッセージが込められています。朝、元気なあいさつを交わすだけで、その日一日の空気がパッと明るくなる経験は、誰しもあるのではないのでしょうか。

運動会の練習中、疲れて言葉が少なくなってしまう時こそ、「がんばろう！」「お疲れ様！」という一言のあいさつや声掛けが、仲間の背中を押す最大のエネルギーになります。あいさつによってお互いの「心の壁」を取り除くこと。それこそが、最高のチームワークを生み出すスタートラインなのです。本校では、日頃から進んであいさつができる生徒の育成を目指しています。運動会という大きな舞台を通じて、生徒たちが気持ちのいいあいさつを交わし、質の高いコミュニケーションを学び、絆をさらに深めてくれることを期待しています。

保護者の皆様、当日はぜひ、グラウンドで躍動する子どもたちに温かい声援をお送りください。また、ご家庭でも「今日の練習はどうだった？」と、子どもたちの頑張りに耳を傾け、励ましの言葉をかけていただければ幸いです。学校と家庭、そして地域が手を取り合い、子どもたちの成長を支えるコミュニケーションの輪を広げてまいりましょう。

生徒の皆さん、仲間を信じ、自分を信じ、最高の運動会を作り上げましょう。皆さんの元気なあいさつと、光り輝く笑顔を楽しみにしています。